



MANAZURU

議会だよりまなづる

No. 62

2019年(平成31年)
2月1日発行



真鶴キッズ倶楽部

C 目次 ontents

1 2月定例会	2 P
一般質問	3 ~ 5 P
委員会等報告等	6 P
議会報告会開催報告	8 P
審議結果	8 P
編集後記	8 P

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
電話0465-68-1131(内線360)
info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会
編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

12月定例会

12月6日～14日
定例会開催

12月定例会は、専決処分・条令の制定・補正予算の審議・選挙管理委員の選挙などが行われました。

 専決処分の報告について（第8号）

 専決処分の報告について（第9号）

公用車の事故について

和解し、及び損害賠償の額を決定した専決処分について報告がありました。

 真鶴町職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

岩本 この条例を改正する差し迫った理由はあるのですか、他の自治体も同じようにやっているのですか。

総務課長 制度を整えるための改正で他の自治体も同じです。

岩本 第2条2項4号「職制若しくは定数の廃又は予算の減少により

職員の属する職務の級の職の数に不足が生じた場合」とは職員本人の責任ではなく、町の都合で降給されることがあるということですか。

総務課長 ありえますが、活用について現在では考えていません。県条例に準じて整備します。

板垣 分限の処分などについて職員の研修を考えていますか。

総務課長 職員研修でしっかりとやっていきます。

黒岩 町の都合で降格される場合、本人は異議申し立てできるのですか。

総務課長 不服申し立てはしっかりと審査します。

直ぐにこれを活用するものではないです。

天野 4号を除いて改正できないのですか。

総務課長 上位法の関係で当町だけ除く訳にはいかないです。

 真鶴町常勤特別職員員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

岩本 人事院勧告は一般

職員が対象ですが、特別職の改正は報酬審議会の答申に基づく改正ですか。

総務課長 昨年までと同様の理由としています。

黒岩 町民にも明らかにする意味で、報酬審議会に答申したのは理解できますが、人事院勧告に基づいて、特別職も準じる引き上げは趣旨が違うのではないですか。

町長 報酬審議会には法的根拠がないため、提案理由に挙げるのはおかしいので、人事院勧告に準じるしかありません。

黒岩 過疎地域の指定を受けている面からも引き上げるのはいかがなものでしょうか。

総務課長 報酬審議会では特別職と一般職は同様に勤務していることから、人事院勧告に準じるのが適当と、しています。

 真鶴町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

根拠法の施行に伴い所要の改正を行いました。

全員賛成

全員賛成

 平成30年度真鶴町一般会計補正予算（第3号）

賛成多数

歳入歳出にそれぞれ709万6千400円を追加し、予算の総額を37億2千37万7千000円としました。

 平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）

全員賛成

歳入歳出にそれぞれ62万7千200円を減額し、予算の総額を13億2千34万3千000円としました。

 平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第2号）

全員賛成

歳入歳出にそれぞれ21万3千000円を追加し、予算の総額を8億9千89万5千000円としました。

 平成30年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

歳入歳出にそれぞれ27万3千100円を減額

し、予算の総額を2億475万6千700円としました。

青木健 受益者負担の50万円の減額の理由を伺います。

町づくり課長 当初は100万としていましたが、接続者が少なく、減額となりました。

 平成30年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

歳入歳出予算の総額は変更せず、歳出の補正をしました。

 平成30年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

歳入歳出にそれぞれ21万3千000円を追加し、予算の総額を8億9千89万5千000円としました。

 平成30年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

予算の総額を1億2千305万7千000円としました。

 平成30年度真鶴町水道事業会計補正予算（第1号）

全員賛成

水道事業費用に515万1千000円を追加し、総額を2億1千680万円とし、職員給与費に60万3千000円追加し、総額を2億4千85万9千000円としました。

岩本 漏水修理及び施設等の修繕増の内容について伺います。

町づくり課長 今年度4月から10月までの漏水修理は約13件で、一件当たり約30万円となった他に施設等の修繕がありました。

 選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙について

選挙管理委員に平井義行氏、青木照久氏、米山俊雄氏、二見良幸氏を、選挙管理委員補充員に小俣慶樹氏、松裏美知枝氏、宮西悦子氏、田邊裕誠氏を選任しました。

選挙管理委員に平井義行氏、青木照久氏、米山俊雄氏、二見良幸氏を、選挙管理委員補充員に小俣慶樹氏、松裏美知枝氏、宮西悦子氏、田邊裕誠氏を選任しました。

選挙管理委員に平井義行氏、青木照久氏、米山俊雄氏、二見良幸氏を、選挙管理委員補充員に小俣慶樹氏、松裏美知枝氏、宮西悦子氏、田邊裕誠氏を選任しました。

選挙管理委員に平井義行氏、青木照久氏、米山俊雄氏、二見良幸氏を、選挙管理委員補充員に小俣慶樹氏、松裏美知枝氏、宮西悦子氏、田邊裕誠氏を選任しました。



岩本 克美
議員

町が保有する遊休資産（土地・建物・構築物等）の有効活用を

問 真鶴港近くの磯崎地区にある元真鶴町水源であった「井戸」の汲み上げ施設は、老朽化し朽ち果てそうです。

答 真鶴は、昔から水源が乏しく飲み水はもとより火災発生時の消防用水に苦慮していました。水には塩分が含まれていて飲水には適さないとされながらも、昭和2年に水道認可が得られたと町史に載っており、認可取得までには様々な紆余曲折があったということも記述されています。

この施設は、真鶴町にとっては貴重な歴史的建造物として保存し、後世に残すべきではないでしょうか。溜っている水の成分検査をし、その結果

を待つてこの施設の活用方法を考えるはどうでしょうか。飲み水として認可を受けるにあたって、昭和の初期に活躍された政治家で胎中楠右衛門氏の功績を忘れてはならない。胎中氏の功績を未来に残すため石像が作られて石の広場に設置されているがあまり知られていません。その存在を積極的に町民や観光客にPRすることが必要ではないでしょうか。

は考えようと思います。次に、過去の歴史や文化を掘り起こし観光資源として行くことにつきましては、真鶴ライフ観光デザイン協議会で作成した「アクションプラン」基本戦略は、町の歴史や文化を学び価値を再認識し、来訪者に、多くの町民が自らの町の文化や歴史を説明できるようにするという趣旨で町全体のおもてなしになると考えています。

答 昭和2年、水不足に悩んでいた真鶴町は磯崎水源池が水量も多く可能性が高かったが、塩分濃度が高く、県の衛生検査では飲料不適となっていました。しかし、他に水源が無いこと、当時は磯崎水源池の水を飲んでいてることなどから真鶴町の水道認可が得られたという歴史があります。

現在では建物、ポンプとも再生整備が出来る状態ではなく、費用をかけて施設の整備や水質検査等を行うことは考えていませんでしたが、水質検査

なお、アクションプランではストーリー仕立てのモデルケースを設定し、まち歩きツアーを作ることも計画しておりますので掘り起こした観光資源の活用についても実施してまいります。

のモデルケースを設定し、まち歩きツアーを作ることも計画しておりますので掘り起こした観光資源の活用についても実施してまいります。

一般質問



森 敦彦
議員

お試し暮らし体験事業について

問 この事業の前年度と本年度10月までの体験された件数、移住をされた件数と移住をされなかった方の移住をしない理由や意見はどのようなことなのか。

また、本年度の事業を実施するなかで、前年度からの事業内容に見直し等があるか伺います。

答 平成29年度が体験件数18件で内、移住件数が3件で平成30年度が10月末時点で体験件数8件内移住件数が1件で移住に至らなかった理由は、丁度良い物件がなかったことや職場との距離があり通勤を考えると難しい、町内の公共交通が少なく車を所有していないと不便さを感じる、現在持ち家を所有しているため売

却等の必要がある他、子どもの進学に合わせて移住を念頭においている等、すぐの移住ではなく数年後の移住を想定しておりまだ検討段階であるという意見を頂いています。前年度からの見直しにつきましては、体験参加者へのプログラムとして、まち歩き以外にも役場職員と移住への意欲や公共施設及び行政制度等の説明や真鶴の生活等についての面談を行いその他、滞在期間中、最低1件の不動産事業者や物件の検討に訪問していただく不動産物件巡りを追加し、より詳しく真鶴を知ってもらい移住について本格的に考えてもらうよう見直しを行いました。

答 今まで暮らししてきた住民に対して、処遇の差があつてはならないので、あくまでもお試し暮らしを通して自発的に移住定住してもらえよう今後も体験者等の意見を聞きながらサービス等については改善をしていきます。

問 町のホームページでは移住相談を平成29年4月より一時休止となっていますが。

答 ホームページが若干更新されていないところがあり、早急に対処します。

問 ホームページは、唯一、日本中にアピールできるもの、それが、誰が見ても平成29年4月から休止している。それを見たら相談する人がいますか、民間企業だったら大変なことになっています。今後はしっかりとやっていただきたい。最後に大道以外にも海菜園ができるような施設も今後必要ではないかと思

問 移住をされた方が町から受ける有利な条件は、ありますか。



青木 健
議員

空家等の対策について

問 市町村は、倒壊の恐れや衛生上、防犯上の問題として、地域に迷惑になってしまった空家の所有者に対し、撤去や修繕を勧告・命令できる、空家等対策の推進に関する特別措置法(以下「法」という。)の施行について町の現状を伺います。

答 ①町内の住宅の空家数と占める割合を伺います。
②別荘を除くセカンドハウスは何棟ありますか。
③住民から空家等の迷惑相談は1年間に何件ありますか。その対応と解決策を伺います。
④現在、特定空家は何棟把握していますか。
⑤法による修繕・勧告・命令をした空家等はありませんか。

答 ①空家対策事業として、今年度、外部委託により全町を対象とした空家の実態調査を実施しており、現段階では空家の棟数は出ていません。
②定期的に住居するセカンドハウスの棟数は把握していません。
③相談件数は1年間で7件で対応処理は、民地であれば土地所有者に手紙等で連絡をとり、処理をお願いしています。公有地は、町で処理をします。
④法による特定空家は、町が一定の判断基準をもって認定するのですが、現在行っている調査は、町内の空家を調査しているもので、特定空家の調査でないもので、数については不明です。
⑤法による修繕・勧告・命令をした空家等はありません。今後、空家実態調査を経て、空家対策計画を策定し、空家の発生防止、空家の利活用、特定空家とみなされるような空家の対応について対策方針を定め、取り組み体制についても、整備をしていきたいと考えています。

問 発表されている全国の空家は何百万棟ですか。

答 平成25年で820万棟です。

問 過去に臨時職員を採用し、空地空家の調査をした結果を伺います。

答 土地で337件、建物で182件です。

問 国から空家等対策のガイドラインが示されているのに町は、法を整備し、いつから施行する予定ですか。

答 来年3月には、計画案を示したいと考えています。

問 法に基づき町が強制撤去すると町の財政の影響はどうなりますか。

答 地方交付税の特別交付税として町に入ります。

問 固定資産税はどう影響しますか。

答 住宅用地で200㎡以下(小規模住宅用地)なら6倍、200㎡を超える部分は3倍になります。

一般質問



天野 雅樹
議員

コミュニティーバス運行の改善について

問 現在コミュニティーバスの交通計画の見直し作業を行っています。が、どのように再編実施計画の改定を行い将来的にはコミュニティーバスを含めた公共交通網を構築していくと考えているかを伺います。

答 デマンドタクシーの実証実験等、今年度の調査事業を踏まえた中で最善な公共交通網の構築について方向性を示していきます。

問 群馬県桐生市で運用されている「低速電動コミュニティービークル」は小さい路地も通行可能。巡回すればお年寄りの足として、また観光客も喜ぶ目玉として観光と交通の一石二鳥の役割

を果たし、国から導入費用が補助されます。運用の検討をお願いします。

真鶴駅周辺地区ブランドデザインについて

問 町では、商業施設を含めた駅ビルを建設し地下道も拡張し地下街にしたい等、夢あふれる持論を発言していますが、どのような方向性で整備しようと考えているかを伺います。

答 真鶴駅周辺地区構想検討会において概ね5年から10年後を見据えた中で意見や思いを話した中で意見や思いを話合っており、今できることから順番に、美の基準を意識した昔ながらの整備について話し合われている。将来的な長期にわたる構想については住民との検討会の意見を踏まえながら検討していきます。

問 活気を戻すには大きな箱モノを作り借金を残す開発よりも海や林、丁場跡地、背戸道の再整備や電柱の地中化等

美しい街並みにするほうが身の丈に合っていると思います。「開発」よりも「整備」真鶴らしい政策をお願いします。

小中学校の特色ある教育について

問 移住推進事業としてICT教育推進事業を行っています。ICT教育以外ではどのような特色ある教育を行っているかを伺います。

答 英語力向上推進計画の充実 ICT機器を活用した教育の推進 幼保小中一貫教育の充実 ふるさと教育の充実 学校施設の整備の計画があります。

今年度中に英語力向上推進計画を策定し中学校卒業時に英語検定3級程度の技能を身に着けコミュニケーションを図る児童生徒の育成を目指します。



黒岩 範子
議員

熱海市・湯河原町・真鶴町共同し尿等受け入れ前処理設備、し尿等投入設備などし尿問題について

問 熱海市・湯河原町・真鶴町共同し尿等処理設備等（熱海市姫の沢エコ・プラント）のイン

シャルコストの真鶴町負担額1億3223万円の75%（一般単独）起債としていますが、返済期間と利率はどうなるのでしょうか。

答 25%は一般財源としていますが、財政調整基金を使うのですか。

答 熱海市に照会していますがまだ詳細はわかりません。

単年度に大きな負担とならないよう起債を活用し、年度間調整をしています。

問 ランニングコストや運搬費用等について

「熱海市姫の沢エコ・プラント」と現在委託事業を行っている「足柄上衛生組合」とはそれぞれどのくらいかかる予定、またはかかっているのですか。

答 平成29年度は、足柄上衛生組合に委託している処理費用が2443万円・運搬費用は1517万円・合計3960

万で熱海市の場合は処理費用が4140万円、他に運搬費用が詳細はわかりませんが、別途必要になります。

問 「足柄上衛生組合」より「姫の沢エコ・プラント」を優先するのは何故ですか。

答 湯河原町は熱海市との共同処理を進める意向があり、真鶴町と湯河原町はあらゆる面で広域行政を進めてきており、真鶴町も参加の方向で動きます。

32年度より運用を開始の予定です。

問 真鶴も参加の方向かどうか、財政計画の中身につ

いて明らかにして欲しいし、今のままでは疑問が多く納得できません。磯崎のし尿貯留槽は今後のようにしていくのですか。

答 現在は大型車に積替えるために使用していますが、整備後、長年経過しているのので、移設をしなければならないと考えています。

答 現在は大規模な積替えをするために使用しています。整備後、長年経過しているのので、移設をしなければならないと考えています。

グランドデザインの協議過程について

問 1月に町の提案をまとめ、パブリックコメントにかける中で町民の意見を聞くということですが、グランドデザインへの意見を聞くときだけ集まりを持ち、そこで出された意見を反映したグランドデザイン（案）を検討するときに集まりを持たないのは、手続的に偏りありませんか。

答 説明会の開催を考えます。

他に「デマンド交通実証実験」について質問しました。

委員会報告

総務民生常任委員会

第6回議会報告会に思う

町民の防災意識向上へ「防災は行政がやるもの」という行政依存は個々に差はあるものの、存在します。

自分の命は自分で守る、主体性の徹底、行政と住民が連携していく姿勢、今、地域で助け合うことの必要性は皆が気付き始めていると言われます。

我が町の自治会加入率の現状を見たとき地域コミュニティに疑問を感じるの否めません。

ここ最近の災害の多発を考えたとき、今こそ発想を転換して、防災によってコミュニティを再生していくという意識が重要です。

委員会に於いて議論を深めていきたいと思えます。

委員長 田中 俊一

経済文教常任委員会

9月18日（火）

①議会報告会準備について

11月開催予定の議会報告会に向けて、経済文教常任委員会として担当する報告事項について、作業部会を設けて調整取りまとめを行うことの申し合わせを行いました。

②委員会の平成30年度下期検討事項について、町事業の中から重要事項を一覧表にまとめ委員へ配布、次回、委員会にて日程調整を行う事にしました。

12月11日（火）平成30年度下期検討事項について、配布していた資料を基に意見調整を行い、執行部側との日程調整を別途行った上でスケジュールを決めることとし、基本的スケジュールとして毎月第二、第四火曜日に開催することを申し合わせました。

委員長 岩本 克美

議会広報特別委員会

10月10日（水）

平成30年度町村議会広報研修会（東京にて開催）に委員4名が参加し、議会広報紙の文章の作り方、デザインを良くするヒントなどについての研修を受けました。

11月26日（月）議会だよりNo.62の発行スケジュール、担当決めた。

その他議会だより発行や議会報告会準備の作業部会を2回開きました。

委員長 板垣 由美子

広域行政特別委員会

9月14日・25日、10月2日に委員会を開催し、し尿等共同処理について検討しました。これまでに、熱海市・湯河原町・真鶴町で専門部会をつくり検討、委員会において1市2町でのし尿等共同処理について、方向性を決めました。

委員長 海野 弘幸

地方創生等検討特別委員会

11月19日（月）

11月までの事業経過の説明を担当課に求めました。

①産業文化の力推進事業

小松石を活用した石彫刻展を真鶴町オリパラ文化プログラムとして平成31年度から平成32年度に開催・展示を行うため、石彫刻作品制作の11名の作家等が決まり、下見等が行われています。

②産業の力創生事業

岩牡蠣試験養殖事業は平成33年度本格出荷に向け、先進地を参考に、環境に適した垂下方法及び管理方法等について検討を継続し、岩牡蠣の販売を担う地域商社の設立、紫外線滅菌処理等の作業を行う出荷施設の整備を推進します。これから本格生産される岩牡蠣の加工処理場の設計と地域商社設立を目指した調査・基本設計と販売・販路拡大のための施策を進めます。

③新産業の力創生事業

岩漁協の漁業者に岩牡蠣養殖先進地の長崎県と海士町の視察を行い養殖技術の知見を深めています。

④お試し暮らし体験事業

4月から11月までの期間に11件の申し込みがあり8件の移住が決まりました。今後は真鶴出版社の宿泊施設と連携し移住を推進していきます。

⑤空家活用推進事業

今年度創作拠点施設を公設民営で運営しています。厨房を一部改造したところ八王子のパン屋に勤めていた若者が仮移住し、パン工房を近々に開業し販売するための試験販売をスタートしました。

⑥自然体験保育事業

新たに真鶴の自然をいかした子育て環境の価値向上を図るため自然保育体験事業を試行し、更なる移住・定住推進を進めます。一部の事業は過疎対策事業と重複します。

⑦過疎地域対策事業

真鶴半島地域、真鶴漁港周辺、真鶴駅周辺、岩

漁港周辺グランドデザイン業務委託事業については、町全体として過疎対策・自立促進を図り真鶴らしさを残していく方向性を検討しています。

今後、町民の皆様から意見を伺い4つの地域のグランドデザインを年度内に策定します。

⑧真鶴魚座大規模改修事業

懸案となっていた改修工事を実施します。改修内容はエレベーター改修、漏水改修、防災設備更新工事です。

⑨道路整備事業

道路整備事業債（町債）を道路の舗装工事過疎対策事業債に6月補正計上しました。7路線1橋梁工事です。

⑩空家実態調査委託事業

空家所有者へのアンケート実態調査を実施し、空家台帳の整備と空家対策協議会の開催を進めています。

委員長 青木 厳

全員協議会

全員協議会は、議会会議規則に基づき、議長が主催し開催する「議案の審査又は議会の運営に関する協議又は調整を行う場」です。

11月7日（水）

・選挙管理委員及び同補充員の選出方法

11月19日（月）

・グランドデザインの進捗状況

・町税等コンビニ収納の導入

・住民票等コンビニ交付サービスの導入

・公共施設一括CO₂改修事業

・災害見舞金支給条例

・中学校弁当に係る負担軽減策

・岩牡蠣出荷施設の用地

12月11日（火）

・し尿等の共同処理

・県議長会会長任期

・厚生年金制度への地方

議会議員の加入

・議員期末手当の支給率

等について報告・協議・調整を行い、必要に応じ、

所管委員会において、さらに検討を行っています。

委員会等への出席・傍聴（平成30年9月～11月） 白枠は出席対象 傍聴は自由です。

委員会	開催日数	出席・傍聴	青木健	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木厳	高橋敦
議会運営委員会	4	出席 傍聴			4	4	4	4	4	3	4	4	議長はすべての委員会に出席します
総務民生常任委員会	2	出席 傍聴	1	1	2	2	2	2	2	1	2	2	
経済文教常任委員会	3	出席 傍聴		3	3	3	3		3		3	1	
地方創生等検討特別委員会	1	出席 傍聴	1	1			1	0			0	1	
議会広報特別委員会	1	出席 傍聴	1	1	1	1			1				
広域行政特別委員会 ※湯河原町真鶴町広域行政推進協議会	3	出席 傍聴			3	1	2	3	3	3	3	3	
全員協議会	2	出席 傍聴	2	2	2	2	2	1	2	2	1	2	

その他の議会関連行事（平成30年9月～11月） 白枠は議会に出席依頼のあったものです。

月	議会関連行事	青木健	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木厳	高橋敦
9月	防災訓練	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	真鶴町敬老会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯河原町真鶴町衛生組合例月出納検査											○
	第27回真鶴町絵画コンクール展審査会											○
	フェリス女学院大学春木ゼミ発表会											○
	スタンダップコメディ「真鶴のこれから」							○				○
	第1回コミュニティMICE											○
	例月出納検査										○	
	神奈川県知事意見書提出											○
	神奈川県議会議長要望書提出											○
	湯河原町真鶴町衛生組合議会							○		○	○	○
10月	ひなづる幼稚園運動会	○		○	○	○		○			○	○
	中井町議会文教民生常任委員会視察来庁											○
	真鶴町町民運動会	○	○	○	○	○		○	○		○	○
	町村議会広報研修会	○	○	○	○							
	ME-BYOサミット神奈川2018											○
	まなづる小学校運動会	○	○	○	○	○		○	○		○	○
	美・緑なかいフェスティバル2018											○
	第2回コミュニティMICE											○
	真鶴中学校学習発表会	○	○			○		○				○
	クリーンキャンペーン真鶴				○	○	○	○			○	○
	例月出納検査										○	
	湯河原町真鶴町衛生組合例月出納検査											○
	キャノン ブレディスローカップ2018											○
	宮ヶ瀬ダムナイト放流							○				
11月	町民文化祭開場式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	神奈川県町村議会議長会10月役員会											○
	神奈川県町村情報システム共同事業組合議会定例会											○
	町村監査功労者表彰式・町村監査委員全国研修会											○
	真鶴町ふれいあいスポーツ大会	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	平成30年度道路整備の促進を求める神奈川県大会											○
	自治功労者表彰式・神奈川県町村議会議長会町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	横浜銀行総合研究所会長来庁											○
	選挙管理委員選考委員会					○	○	○		○	○	○
	海のまち豊漁豊作祭真鶴龍宮祭	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	豊漁豊作祭花火大会							○				○
	さば大師「魚供養祭」							○				○
	神奈川県町村議会議長会11月役員会											○
	県際広域防災調整連絡会											○
	全国過疎地域自立促進連盟第136回理事会・第49回定期総会											○
	第55回西丹沢もみじ祭											○
	城下町おだわらソーデーマーチ											○
	地方議会活性化シンポジウム2018											○
	第53回小田原地方交通安全総ぐるみ大会							○				
	例月出納検査										○	
	第62回町村議会議長全国大会											○
	第7回豊門公園もみじまつり											○
	湯河原町真鶴町衛生組合例月出納検査											○
	宮ヶ瀬クリスマス交流懇談会											○

議会報告会開催報告

11月16日午後6時より
真鶴地域情報センター1
階映像ホールにて、第6
回議会報告会を開催しま
した。

議会報告会は真鶴町議
会基本条例に基づき、議
会報告会開催実施要綱に
則り開催されます。

今回は二部形式とし一
部では町議会の活動に関
する報告を行い、二部で
は参加者との意見交換を
行いました。

18名の方にご参加をい
ただきました。

開催に向けた取り組み
としては、山梨学院大学
江藤教授による研修を行
い、また、報告会開催案
内チラシ・ポスターの作
成や掲出・撤去、各種団
体への声掛けなどを行
いました。

詳細については、町ホ
ームページへの掲載を予
定しています。

議会運営委員会

委員長 青木 繁

平成30年 12月定例会 審議結果

会期(12月6日～14日)

議案番号	議 案	採決者数	賛 成	反 対	議決結果	青木 健	森 敦彦	天野雅樹	黒岩範子	岩本克美	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木 繁	青木 厳	高橋 敦
報告第8号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定)	10			報											
報告第9号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定)	10			報											
議案第42号	真鶴町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	7	3	可	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
議案第43号	真鶴町常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	11	6	5	可	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第44号	真鶴町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第45号	平成30年度真鶴町一般会計補正予算(第3号)	11	6	5	可	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第46号	平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第47号	平成30年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第48号	平成30年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第49号	平成30年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第50号	平成30年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第51号	平成30年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第52号	平成30年度真鶴町水道事業会計補正予算(第1号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は裁決に加わりません

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席

欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥

議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定

同=同意 報=報告 採=採択

趣=趣旨採択 不=不採択

※議長(高橋 敦)は採決に加わりません。

※議案第43号・第45号については、賛成と反対が同数のため、議長が採決に加わりました。

議会を傍聴してみませんか

次の議会は

定例会 3月5日(火) 6日(水) 7日(木) 15日(金)
の予定です。真鶴地域情報センター・
インターネットでも
議会中継をしています。

編集後記

「議会だより」をいつもお読
みになって頂きありがとうございます。
います。

今回は、町民の皆様の目線に
立つてよりわかりやすくするた
め、QとAを問と答に変えてみ
ました。

これからも議会の様子がよく
わかる「議会だより」を目指し
ていきたいと思っています。

まだまだ、寒さが続きます。
インフルエンザなどにかからぬ
ようご自愛下さい。

議会広報特別委員会

委員長 板垣 由美子



議会広報特別委員会

委員長 板垣 由美子
副委員長 天野 雅樹
委員 青木 健樹
森 敦彦
黒岩 範子